

ドウダンツツジ



カエデ



紅葉



ナツアカネ

カルガモ



放射性物質測定分析業務開始のお知らせ

東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所からの放射性物質漏洩事故により、放射能汚染への不安が非常に高まっています。当事業団では、事故発生直後から、三重県内の放射性物質測定分析分野のリスク管理に向けて、分析体制の整備を急いできましたが、このたび、7月25日から測定分析業務の受け入れを開始しましたのでお知らせいたします。

なお、検査の混み具合によっては、納期が遅れる場合があります。また、試料の性状等によっては分析できない場合があります。ご依頼時には必ず事前に担当者にご連絡くださいますようお願いいたします。

－主な放射性物質測定分析業務－

①ゲルマニウム半導体検出器を用いたγ線スペクトロメトリーによる核種分析

分析項目：放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134、Cs-137 など）

報告単位：Bq/kg

分析対象：飲料水、食品、海水、河川水、プール水、土壌、汚泥、廃棄物など

※①と②の報告単位は次のページ参照。

②NaI（ヨウ化ナトリウム）シンチレーションサーベイメータによる放射線量測定

報告単位：μSv/h

測定対象：公共施設（学校など含む）・職場・自宅・公園等における放射線量測定

※なお、指定の場所の放射線量が強く検出された場合は、その周辺の土壌、水等を採取し、γ線スペクトロメトリーによる核種分析を実施することをお勧めします。



ゲルマニウム半導体検出器

NaIシンチレーションサーベイメータ





放射能、放射線の単位

放射能や放射線を表す単位はいろいろあり、よく用いられるのはベクレルとシーベルトそしてグレイです。

ベクレル (Bq) は放射能の量、強さを表す単位で、放射性物質の原子核が1秒間に1個崩壊して放射線を放出するのが1ベクレルです。シーベルト (Sv) は放射線の生体への影響を表す単位で、私たちが1年間にうける自然放射線は平均で2.4ミリシーベルト (ミリは千分の一) といわれています。グレイ (Gy) は物質に吸収

された放射線のエネルギー量を表す単位で、1kgの物質に1ジュール (J) の放射エネルギーが吸収された場合の吸収線量が1グレイです。

ベクレルは放射線を出す側からみた単位であり、シーベルトとグレイは放射線を受ける側からみた単位といえます。

また、ベクレルからシーベルトへの換算は、ベクレルに放射性物質の種類、臓器や組織の種類、体内へのルート (経口、吸入等) により異なる実効線量係数をかけて算出します。



みえ環境フェア2011出展者募集のご案内！

三重県地球温暖化防止活動推進センターでは、12月11日 (日) に「みえ環境フェア2011」を開催します。

今年度は、「節電・節エネ・節CO₂」をテーマに、三重県内の環境活動を紹介するとともに、地球温暖化防止につながる「節電・節エネ・節CO₂」について、子供から大人まで、たくさんの人に楽しみながら学んでいただける場を提供します。

環境活動・節電・省エネの取組や活動を行っている団体や事業者のみなさん、「みえ環境フェア2011」に出展してみませんか。申込方法など、くわしくは下記までお問い合わせください。



昨年度の環境フェア



1 開催内容

- (1) 名 称 みえ環境フェア2011
- (2) 日 時 平成23年12月11日 (日)
10時～15時 (予定)
- (3) 会 場 メッセウイング・みえ (津市)
- (4) 内 容
 - ① パネル展示などによる活動紹介
 - ② 発電体験コーナーやリユース工作コーナー
 - ③ みえ環境活動賞の表彰式 (予定)
 - ④ エコライフチェックコーナー
- (5) 出展団体 約50団体 (予定)
- (6) 参 加 者 2,000人 (予定)

2 出展募集対象及び締切日

- (1) 募集対象：環境活動に取り組む三重県内の県民、NPO、企業、学校、自治体
- (2) 締切日：平成23年10月31日 (月) まで

3 問い合わせ先

三重県地球温暖化防止
活動推進センター
TEL：059-245-7517
FAX：059-245-7518
Mail mcca@mec.or.jp





生物多様性保全に向けた活動の報告

当事業団では、「三重の豊かな自然を未来に伝える」を基本コンセプトとして、生物多様性保全活動を平成21年度から開始しました。

その啓発活動の一環として、8月7日に、松阪市（MAPみえこどもの城）において「**ほくら生き物調査隊 採って、調べて、形にしよう**」と題して、山路武夫先生、河北均先生らを講師陣にお招きして、親子動植物同定会及び標本づくりの実習を行いました。当日は、37組、75人ほどの多くの方々に参加していただきました。

子どもたちは、飼っていたカブトムシ、クワガタやこの日のために家の近くで採集した蝶、とんぼ、植物、貝殻を持ち寄り、採集物の種名などの説明を真剣に聞いたりした後、おそらくはじめての体験であろう標本づくりに一生懸命でした。



なかなかうまくいかない^{てんし}展肢、^{てんし}展翅（虫の肢や翅^{はね}をのばして整えること）に付き添いの方も少々熱くなったり、悪戦苦闘する子どももいましたが、出来上がった標本にとっても満足していました。

これをきっかけに生き物にさらに興味を持っていただけたら幸いです。こうした機会を今後も充実していきたいと思っておりますので、ご参加のほど宜しくお願いいたします。

お問い合わせ先 調査部 環境調査課 フリーアクセス 0120-0592-02 tel 059-245-7509 fax 059-245-7519

第20回 ISO情報交換会開催のご案内

国際規格審査登録センター（ISC）では、企業の皆様方のISOへの取り組み事例や、マネジメントシステム認証制度に関する種々の情報をご紹介します情報交換会を行っています。

今回は、公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）から、中小企業へ向けた「マネジメントシステムの有効活用」をテーマに講演いただきます。

JABはISOを推進する認定機関として事業者の皆様に期待する取り組みについて講演いただきます。

また、株式会社百五経済研究所より、「事業継続計画（Business Continuity Plan（BCP））の構築とマネジメントシステムを使った運営管理」について講演いただきます。企業が自然災害、事故等の緊急事態に遭遇したときの事業の継続、早期復旧を可能とするために平

常時に行うべき活動や、緊急時における事業継続のための方法、手段などをマネジメントシステムとしてどのように取り組むかを紹介いただきます。

ISO認証登録事業者をはじめ、これからISOの取り組みをご検討されています事業者のご参加をお待ち申し上げます。

開催の概要はつぎのとおりですが、詳細はISCホームページをご参照ください。

日時 平成23年10月28日（金）
13時00分～16時20分

場所 四日市市文化会館 第3ホール
四日市市安島二丁目5-3

参加料 無料

お問い合わせ先 国際規格審査登録センター（ISC） tel 059-245-7514 fax 059-245-7524
ISC ホームページ <http://www.mec.or.jp/iso/isc/>


サネカズラ
(ピナンカズラ)

「万葉集の植物」より

葛山博次著

サネカズラは、春から夏は直立に伸び、晩夏から秋にかけてはつる状に長く伸び隣のつるとかみあう、このことを万葉人はよく観察し、「逢ふ」という言葉と結びつけて詠んだ歌が多く目につきます。八首ほどあります。

サネカズラとは、秋に熟す実（さね）が真紅で美しいつる性の植物ということから名づけられています。古くからこの植物の茎を刻んでお湯に入れると粘性の液がとけだし、それで髪をとくことからピナンカズラともいわれています。

「山のさねかずらが、色づくまで、いとし人に逢わないで、焦れておられるものか。」常緑のサネカズラが色づくのは晩秋から初冬にかけてです。それまで、逢わないで我慢することはできないの思いが歌われています。

(巻十の二二九六)

妹に逢はずや わが恋ひ居らむ

あしひきの 山さな葛 もみつまで

万葉人の
愛した草木

その二十五



平成23年度 ISO 研修参加者募集!!

ISO14001/ISO9001 内部監査員養成セミナー〈2日間コース〉

対象 新しい内部監査員の養成、ISOコンサルタントを目指す方 等

内容 規格要求事項の解説、内部監査の説明、内部監査の場面を想定したケーススタディ

開催月日

ISO14001 内部監査員養成セミナー

平成23年11月17日(木)・18日(金) 平成24年2月9日(木)・10日(金)

開催場所

財団法人 三重県環境保全事業団
河芸社屋2階大会議室

定員

30名

講習時間

9:00～17:00

参加費

42,000円/1名
(昼食付き、消費税含む)

お問い合わせ先 調査部環境調査課 ISO研修担当 tel 059-245-7509 fax 059-245-7519

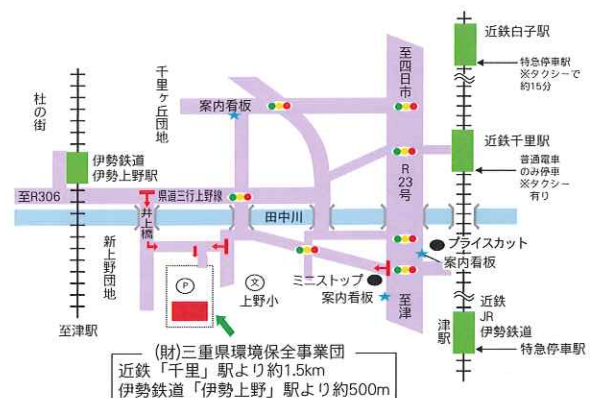
■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505 (代表) fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>

■三田最終処分場(埋立処分事業)

〒510-0841 四日市市三田町 9 番地の地先
tel 059-349-5016 fax 059-346-6500

■小山リサイクルセンター(破碎処理)

〒512-1102 四日市市小山町字大犬谷 3258
tel 059-328-2567 (代表) fax 059-328-2967

● 事業団へのご意見・ご要望または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。e-mail: mec@mec.or.jp